



# 日本頭頸部外科学会

理事長 平野 滋



理事長  
平野 滋

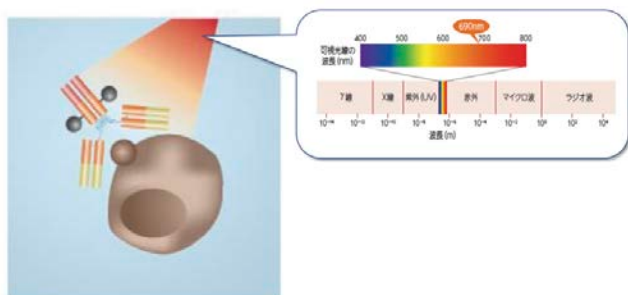
日本頭頸部外科学会は耳鼻咽喉科領域のうち手術に特化した学会で、従来の手術手技や新しい手術機器、技術の開発について議論を行う恰好の場です。また頭頸部がん専門医制度を有しており、がん診療の発展にも貢献しております。頭頸部がん領域においては従来の拡大切除・再建に加え、集学的治療をベースとした低侵襲・機能温存手術が発展してきております。例えば従来であれば咽頭や喉頭の多く、あるいはすべてを摘出しないとけなかつたところ、経口腔的な内視鏡を含めた手術技術が進歩して参りました。その最たるものがロボット支援手術であり、すでに薬事承認は受けているので、近々、日常診療化すると期待されます。また最近の大きなトピックとして光免疫治療が挙げられます。今のところ頭頸部がんのみに薬事承認されております。光感受性物質をがんと結合させて、レーザー光を当てることで腫瘍が崩壊するもので、さらに放出された腫瘍抗原によりがん

免疫が活性化されるというものです。うまくいけば全身のがん病巣を治療できるという夢のような治療が可能になります。日本頭頸部外科学会ではこれらロボット支援手術、光免疫治療の管理を行うとともに推進のために尽力しております。

がん治療は大変と思う人もいるかもしれませんが、頭頸部がんの手術治療は日々進歩しており、大変なやりがいがあるとともに面白い領域といえます。ワークライフバランスを考慮した仕事ができますので、女性医師で頭頸部がん診療に従事する人も増えております。ぜひ頭頸部領域の手術に触れてみてください。



ロボット支援手術



光免疫治療